

## 紙・板紙の計算基準

仕立	紙は、1000枚をもって一連とする。 板紙は、100枚をもって一連とする。
寸法	紙は、ミリメートルを単位とし、小数点1位を四捨五入する。 板紙は、センチメートルを単位とし、小数点1位を四捨五入する。
面積	平方メートルを単位とし、小数点4位を四捨五入して3位で留める。 ただし、B/四仕立のものは小数点5位を四捨五入し4位で留める。
単位重量	単位重量はメートル坪量(g/m <sup>2</sup> )を基準とし、小数点2位を四捨五入して1位で留める。
連量	連量の端数整理は、紙の場合小数点1位を二捨三入七捨八入して0.5kg単位に留める。ただし、B/四仕立の場合は小数点2位を二捨三入、七捨八入して0.05kg単位に留め、薄葉紙の場合は2位を四捨五入して1位で留める。板紙の場合小数点1位を二捨三入七捨八入して0.5kg単位に留める。ただし、200g/m <sup>2</sup> 未満の場合は紙の端数整理に準ずることがある。
連量表示	紙は、◇印の中に連量を記入する。 板紙は△印の中に連量を記入する。
号数	平判板紙の号数は50g/m <sup>2</sup> を最低とし、これを1号とし50g/m <sup>2</sup> 毎に1号ずつ号数を加算する。 ただし、400g/m <sup>2</sup> 未満は10g/m <sup>2</sup> 毎に区分し、この端数は各号の2・4・6・8と呼称する。
紙・板紙の計算方法	(A) 紙 連量＝単位重量g/m <sup>2</sup> ×面積(m <sup>2</sup> )×1,000(枚) (B)板紙 連量＝単位重量g/m <sup>2</sup> ×面積(m <sup>2</sup> )× 100(枚)